

令和4年度予算の概要 — モーターボート競走事業会計 —

1 予算編成の基本方針

令和4年度は、尼崎市ボートレース事業経営計画(計画期間:令和元年度から5年度)の4年目であり、引き続き、事業の使命である「ボートレースを通じ、お客様に感動を与え、尼崎のまちづくりに寄与する」ことに取り組んでいきます。なお、計画当初から社会経済の動向やボートレース事業を取り巻く環境等が大きく変化していることから、①令和2年度までの実績等を踏まえた計画期間中の売上及び収支見込み、②令和4年度から令和5年度までの施設整備計画等、③利益処分方法、について中間見直しを行います。

令和4年度は、見直し後の経営計画に基づいた予算編成を行い、電話投票等の売上向上事業や競技エリアの整備、メインスタンド一般席改修等の施設整備事業を重点取組事項として推進していきます。

2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	63,390,091	58,535,771	4,854,320	8.3%
		支出	60,231,994	55,544,203	4,687,791	8.4%
		差引	3,158,097	2,991,568	166,529	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	1	1	0	0.0%
		差引	0	0	0	
合 計 (当年度純利益)		3,158,097 (3,017,455)	2,991,568 (2,885,999)	166,529 (131,456)		
資本的 収支	収入	1	1	0	0.0%	
	支出	1,786,282	1,326,865	459,417	34.6%	
	差引	△ 1,786,281	△ 1,326,864	△ 459,417		
補てん財源		4,093,194	3,986,990	106,204	2.7%	
資金収支	年間	2,306,913	2,660,126	△ 353,213		
	累計	9,238,402	9,117,488	120,914		

収益的収入については、令和4年度は、4年ぶりにSGレース(オーシャンカップ)を開催し、その売上を135億円と見込んでいることから、売上全体としては前年度に比べ8.8%増となり、純利益は30億円を見込んでいます。

一方、これまでの売上傾向から、本場や場外発売場での売上は引き続き減少すると見込んでいます。また、これまで加速度的に増加してきた電話投票売上(インターネット投票)は、コロナ禍の影響を受けながらも社会経済活動が正常化に向かう中で、旅行や外食など他のレジャー等の機会が増加し、それに合わせて一定減少すると推察しています。

その結果、GⅡ以上のグレードレースを除いた1日平均売上は299,354千円(対前年度増減率△12.2%)と見込んでおり、その内訳は、本場23,047千円(△14.5%)、電話投票214,178千円(△3.1%)、委託発売62,129千円(△33.3%)となっています。

資本的支出については、メインスタンド一般席等改修事業や防風ネット整備工事等を実施することから、4億6千万円の増となっています。

資金収支については、年度末の資金残高が92億4千万円となる見込みです。

3 業務の予定量

区 分		令和4年度	令和3年度	増減	増減率
年間開催日数		130日	130日	-日	-%
舟券発売金 ※1	年間総額	58,412,972千円	53,683,228千円	4,729,744千円	8.8%
	一日平均	449,331千円	412,948千円	36,383千円	8.8%
本場入場 人員※2	年間総人数	264,030人	277,680人	△13,650人	△4.9%
	一日平均	2,031人	2,136人	△105人	△4.9%

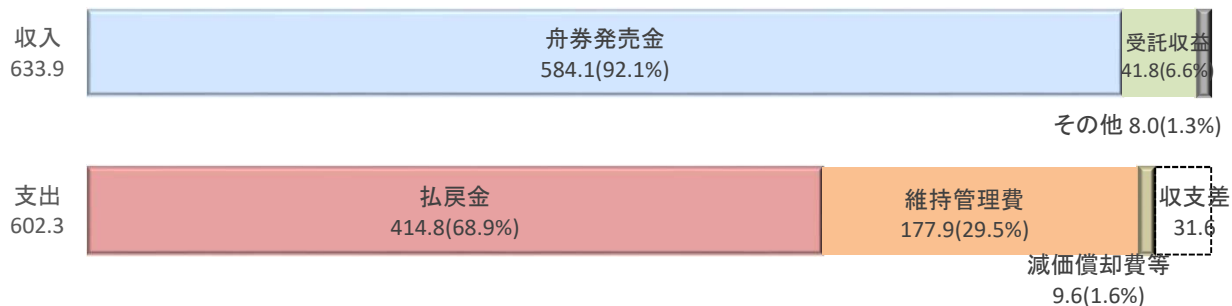
※1 舟券発売金=売上金と返還金の計

※2 本場入場人員=有料入場者数

4 予算の構成

(1) 収益的収支（事業管理・運営にかかわる収支）

税込、単位：億円、（）内は構成比



(2) 資本的収支（施設の建設・改良などにかかわる収支）

